

第二級海上特殊無線技士試験問題

(注) 解答は、答えとして正しいと判断したものを一つだけ選び、答案用紙の答欄に正しく記入（マーク）すること。

法 規 12問
無線工学 12問 } 24問 1時間

法 規

〔1〕 無線局の無線設備の変更の工事の許可を受けた免許人は、総務省令で定める場合を除き、どのような手続をとった後でなければ、許可に係る無線設備を運用することができないか。次のうちから選べ。

- 1 当該工事の結果が許可の内容に適合している旨を総務大臣に届け出た後
- 2 総務大臣に運用開始の予定期日を届け出た後
- 3 工事が完了した後、その運用について総務大臣の許可を受けた後
- 4 総務大臣の検査を受け、当該工事の結果が許可の内容に適合していると認められた後

〔2〕 電波の主搬送波の変調の型式が角度変調で周波数変調のもの、主搬送波を変調する信号の性質がアナログ信号である単一チャネルのものであって、伝送情報の型式が電話（音響の放送を含む。）の電波の型式を表示する記号はどれか。次のうちから選べ。

- 1 J 3 E
- 2 F 3 E
- 3 A 3 E
- 4 F 1 B

〔3〕 第二級海上特殊無線技士の資格を有する者が、船舶局の25,010kHz以上の周波数の電波を使用する無線電話の国内通信のための通信操作を行うことができるのは、空中線電力何ワット以下のものか。次のうちから選べ。

- 1 5ワット
- 2 10ワット
- 3 50ワット
- 4 100ワット

〔4〕 総務大臣から無線従事者がその免許を取り消されることがあるのはどの場合か。次のうちから選べ。

- 1 電波法に違反したとき。
- 2 引き続き5年以上無線設備の操作を行わなかったとき。
- 3 日本の国籍を有しない者となったとき。
- 4 免許証を失ったとき。

〔5〕 免許人は、その船舶局が遭難通信を行ったときは、どうしなければならないか。次のうちから選べ。

- 1 総務省令で定める手続により、総務大臣に報告する。
- 2 その通信の記録を作成し、1年間これを保存する。
- 3 船舶の所有者に通報する。
- 4 速やかに海上保安庁の海岸局に通知する。

〔6〕 無線局の免許人は、無線従事者を選任し、又は解任したときは、どうしなければならないか。次のうちから選べ。

- 1 1箇月以内にその旨を総務大臣に報告する。
- 2 速やかに、総務大臣の承認を受ける。
- 3 遅滞なく、その旨を総務大臣に届け出る。
- 4 2週間以内にその旨を総務大臣に届け出る。

第二級海上特殊無線技士試験問題

法 規

〔7〕 一般通信方法における無線通信の原則として無線局運用規則に定める事項に該当するものはどれか。次のうちから選べ。

- 1 無線通信は、正確に行うものとし、通信上の誤りを知ったときは、直ちに訂正しなければならない。
- 2 無線通信は、試験電波を発射した後でなければ行ってはならない。
- 3 無線通信は、迅速に行うものとし、できる限り短時間に終わるようにしなければならない。
- 4 無線通信は、長時間継続して行ってはならない。

〔8〕 船舶局に備え付けておかなければならない時計は、その時刻をどのように照合しておかなければならないか。次のうちから選べ。

- 1 毎月1回以上協定世界時に照合する。
- 2 毎週1回以上中央標準時に照合する。
- 3 毎日1回以上中央標準時又は協定世界時に照合する。
- 4 運用開始前に中央標準時又は協定世界時に照合する。

〔9〕 無線局は、遭難通信等を行う場合を除き、相手局を呼び出そうとするときは、電波を発射する前に、どの電波の周波数を聴守しなければならないか。次のうちから選べ。

- 1 他の既に行われている通信に使用されている周波数であって、最も感度のよいもの
- 2 自局に指定されているすべての周波数
- 3 自局の付近にある無線局において使用されている電波の周波数
- 4 自局の発射しようとする電波の周波数その他必要と認める周波数

〔10〕 次の記述は、通報の送信について述べたものである。無線局運用規則の規定に照らし、 内に入るべき字句を下の番号から選べ。

無線電話通信における通報の送信は、 行わなければならない。

- 1 語辞を区切り、かつ、明りょうに発音して
- 2 内容を確認し、一字ずつ区切って発音して
- 3 明りょうに、かつ、速やかに
- 4 単語を一語ごとに繰り返して

〔11〕 遭難呼出し及び遭難通報の送信は、どのように反復しなければならないか。無線局運用規則の規定に照らし、次のうちから選べ。

- 1 他の通信に混信を与える虞^{おそれ}がある場合を除き、反復を継続する。
- 2 少なくとも3分間の間隔をおいて反復する。
- 3 少なくとも5回反復する。
- 4 応答があるまで、必要な間隔をおいて反復する。

〔12〕 無線電話通信において、無線局は、自局に対する呼出しを受信した場合に、呼出局の呼出名称が不確実であるときは、応答事項のうち相手局の呼出名称の代わりにどの略語を使用して直ちに応答しなければならないか。次のうちから選べ。

- 1 反復
- 2 誰かこちらを呼びましたか
- 3 貴局名は何ですか
- 4 各局